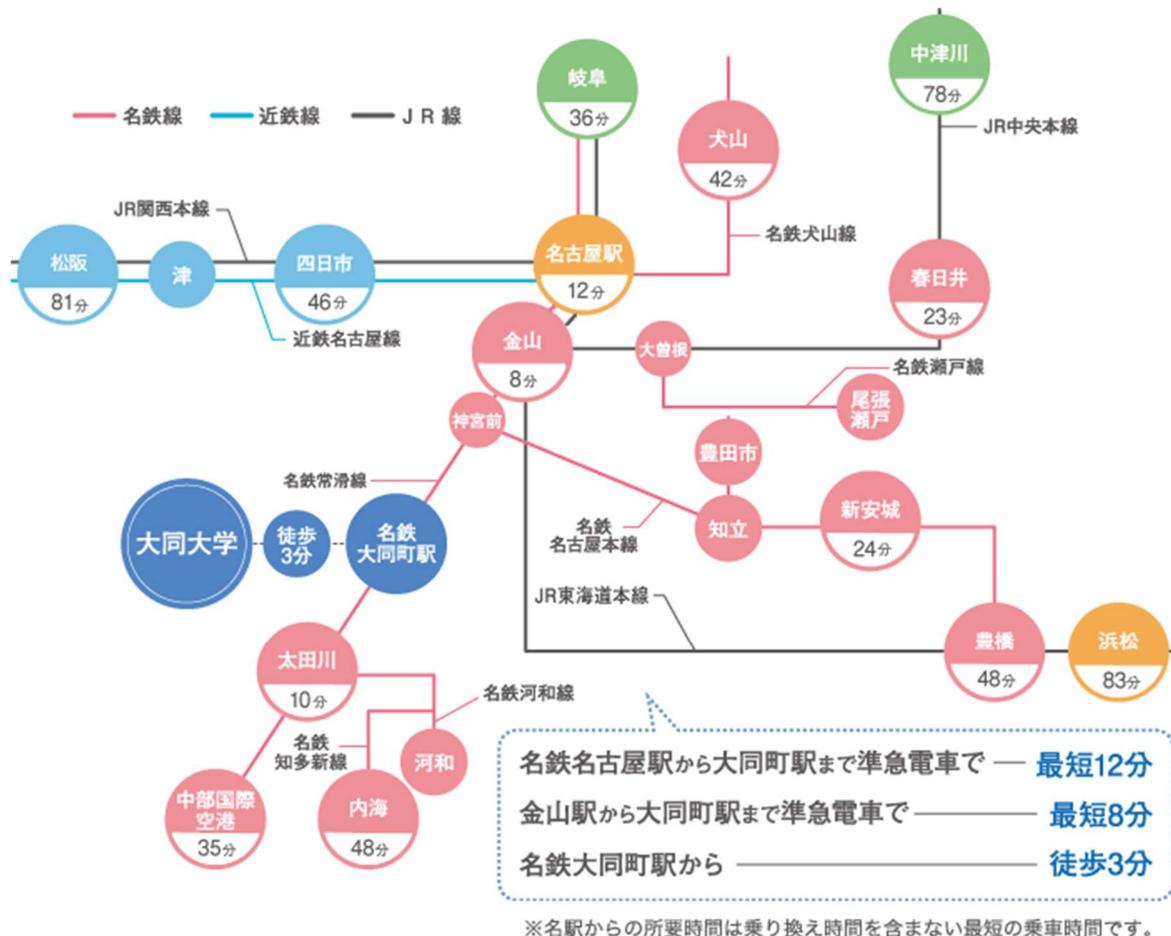


令和4年度

第35回におい・かおり環境学会

- 会 期 令和4年 8 月 30 日(火)～31 日(水)
- 会 場 大同大学 (名古屋市南区滝春町 10 番地 3)
オンライン
- 参加費 講演者, 会員(法人・個人), 臭気判定士, 日本アロマ環境協会会員 : 7,000 円
(当日) 学 生 : 4,000 円
一 般 : 10,000 円 (講演要旨集合む)
- 後 援 環境省
- 協 賛 公益社団法人空気調和・衛生工学会, 一般社団法人室内環境学会,
一般社団法人繊維学会, 公益社団法人日本アロマ環境協会, 日本味と匂学会,
一般社団法人日本環境測定分析協会, 日本感性工学会,
一般社団法人日本官能評価学会, 公益社団法人日本空気清浄協会,
一般社団法人日本建築学会, 公益社団法人日本生物工学会,
公益社団法人日本騒音制御工学会, 公益社団法人日本畜産学会,
公益社団法人日本水環境学会, 一般社団法人廃棄物資源循環学会 (五十音順)

アクセスマップ



【開会および挨拶】

9:00~9:55

司会：太田進（(公社)におい・かおり環境協会）

- 1 開会挨拶 公益社団法人におい・かおり環境協会 会長 小峯裕己
- 2 歓迎・祝辞 大同大学 学長 神保睦子 氏
- 3 来賓挨拶・講演「におい・かおり環境行政の最近の取組」
環境省水・大気環境局大気生活環境室 鈴木克彦 氏

【一般口頭発表】 オンライン発表

10:00~11:00

座長：長谷博子（花と香りの研究所）

- 4 置くだけでにおいを測定するセンサの分析性能の評価
○藤岡宏樹(農業・食品産業技術総合研究機構)
- 5 ニオイへの日常的な反復接触がニオイの好ましさに与える影響
○小川緑, 綾部早穂(筑波大学人間系心理学域)
- 6 嗅覚刺激により生じる快・不快感情がストループ認知機能に与える影響
○遠藤加菜¹⁾, 竹内有彩¹⁾, 森本かえで²⁾(¹⁾広島大学, ²⁾大阪保健医療大学)
- 7 生活環境におけるにおいの容認性に関する研究 第1報におい物質を用いた検討
○北川舞¹⁾, 棚村壽三²⁾, 光田恵²⁾(¹⁾大同大学大学院, ²⁾大同大学)

準備 10分

【一般口頭発表】 学生発表

11:10~11:55

座長：永吉健太郎（(株)富士通ゼネラル研究所）

- 8 大学自習室における香り噴霧が在室者の室内環境及び学習効率の主観評価に及ぼす影響に関する検討
○福本柊一郎¹⁾, 山中俊夫¹⁾, 崔ナレ¹⁾, 竹村明久²⁾, 小林知広¹⁾(¹⁾大阪大学, ²⁾摂南大学)
- 9 微細藻類イカダモ(Scenedesmus sp.)の培養法開発に向けた嗅覚官能評価と高解像度においセンサーの比較, 物質同定
○小山玲音¹⁾, 出村幹英¹⁾, 橋詰賢一²⁾, 関根あゆ美²⁾, 佐藤克久³⁾, 上村智子³⁾, 笹川智史¹⁾, 上野大介¹⁾
(¹⁾佐賀大農, ²⁾(株)アロマビット, ³⁾西川計測(株))
- 10 ウンシュウミカン貯蔵臭原因物質濃度の時系列変化と高解像度においセンサーによる判別の試み
○笹川智史¹⁾, 古藤田信博¹⁾, 橋詰賢一²⁾, 関根あゆ美²⁾, 小山玲音¹⁾, 上野大介¹⁾(¹⁾佐賀大農, ²⁾(株)アロマビット)

昼休憩

11:55~13:10

- 11 機器企画展示会場から配信 (1社2分程度)
- 12 機器展示/昼休憩

特別講演

13:10~13:55

司会：飯島伸介（新東工業(株)）

- 13 嗅覚受容体技術を用いた悪臭低減香料の開発
三原尚 氏(高砂香料工業(株))

準備 5分

企画セッション

14:00~16:00

『におい・香りの心理・生理的効果に関する研究』座長：小林剛史（文京学院大学）、山本晃輔（大阪産業大学）

- 14 においに対する順応・慣れと先入観の影響の心理学研究
小林剛史 氏(文京学院大学)
- 15 高齢者を対象とした嗅覚と自伝的記憶の心理学研究
山本晃輔 氏(大阪産業大学)
- 16 化粧品の長期連用により形成される香りの嗜好“やみつき感”の評価法の探索
武井涼 氏((株)コーサー 研究所)
- 17 嫌悪条件づけされたにおいの知覚に関する研究
松葉佐智子 氏(東京ガス(株)、筑波大学)

準備 10分

- 18 ディスカッション 45分

※講演者の順番については入れ替わる可能性がありますのでご了承ください

準備 10分

【ポスター発表①】

16:10~17:45

- 19 ポスター発表ショートプレゼン (1題2分) 配信 16:40 配信終了
- 20 ポスター会場にてディスカッション/機器展示

【一般口頭発表】 測定分析

9:10~10:10

座長：寺島弘之（ジューエルサイエンス(株)）

- 21 給排気位置の違いによるにおい物質の空間分布に関する研究-アンモニアとD-リモネンを用いた検討-
○近藤早紀, 光田恵, 棚村壽三(大同大学)
- 22 蓄熱燃焼式排ガス処理装置を用いた香料加工工場の環境改善
○村上栄造, 水野良典, 小島富也((株)朝日工業社)
- 23 におい嗅ぎ GC-TOFMS を用いた生活における臭気の探索と消臭効果の評価
○樺島文恵, 櫻井昌文(LECO ジャパン(同))
- 24 柚子とゆず湯の香気分析
○富田直己, 佐々木久美子, 坂巻憲佐(長谷川香料(株))

準備 10分

【一般口頭発表】 評価方法

10:20~11:05

座長：亀山直人（(株)環境管理センター）

- 25 被験者属性の違いがにおい評価に及ぼす影響
○萬羽郁子¹⁾, 堀江菜々恵²⁾, 光田恵³⁾ (¹⁾東京学芸大学, ²⁾元東京学芸大学, ³⁾大同大学)
- 26 決定正解率を用いた臭気指数の算定手順に関する考察 -完全正解の導入-
○藤岡薫¹⁾, 柳橋泰生²⁾ (¹⁾福岡女子大学, ²⁾福岡大学)
- 27 職場環境における官能評価の比較とにおいの慣れの調査
○松本智陽, 福田秀和, 並川敬, 坂本雅子, 川合蕉吾, 荒木祥平(ダイキン工業(株))

準備 5分

【ポスター発表②】

11:10~12:40

- 28 ポスター発表ショートプレゼン (1題2分)
- 29 ポスター会場にてディスカッション/機器展示

昼休憩60分

12:40~13:40

- 30 機器企画展示/昼休み

【協会表彰式】

13:40~14:00

司会：太田進（(公社)におい・かおり環境協会）

- 31 協会表彰式(功労賞, 学術賞)

学術賞講演

14:00~14:30

司会：太田進（(公社)におい・かおり環境協会）

- 32 におい・かおりの医薬品としての将来性
佐藤忠章 氏(国際医療福祉大学)

【閉会 表彰式】

14:30~14:45

- 33 ベストプレゼンテーション賞(口頭発表部門、ポスター発表部門)の表彰式
閉会挨拶 学会委員長 光田恵(大同大学)

※一般口頭発表

1セッション毎に表示している時間の枠内で講演を行います。質疑の時間は座長判断により調整する場合があります、講演開始時間が流動的になります。予めお早めにお集まりいただけるようお願いします。口頭発表の1演題当りの時間は12分(内 発表時間は8分、質疑4分)です。発表者の交代、画面共有の時間は発表時間には含んでおりません。

ポスター発表① 8月30日(火) 16:10~17:45

ポスター会場：X0211~X0215

司会：石田賢哉（高砂香料工業(株)）

- P1 ウンシュウミカンにおける貯蔵臭の物質同定
○笹川智史¹⁾、古藤田信博¹⁾、佐藤克久²⁾、上村智子²⁾、小山玲音¹⁾、上野大介¹⁾ (¹⁾佐賀大農、²⁾西川計測(株))
- P2 完全正解に対する決定正解率を用いた臭気指数の試算
○久保田桃観¹⁾、本田奏¹⁾、藤岡薫¹⁾、柳橋泰生²⁾ (¹⁾福岡女子大学、²⁾福岡大学)
- P3 沖縄産”インドナツメ”の多彩な香気
○長嶋舞華¹⁾、長谷川登志夫¹⁾、蔵屋英介²⁾、藤原隆司¹⁾ (¹⁾埼玉大学大学院理工学研究科、²⁾沖縄工業高等専門学校)
- P4 アトピー性皮膚炎モデルに対する植物抽出物の抗炎症能と機能性評価
○藤田歩¹⁾、小室朝香²⁾、武田博音²⁾、根建美也子³⁾、安藤直子^{1,2,3)}
(¹⁾東洋大学大学院理工学研究科応用化学専攻、²⁾東洋大学理工学部応用化学科、³⁾工業技術研究所)
- P5 ガスセンサによる生活環境のにおいの測定に関する研究 第1報におい物質に対する半導体ガスセンサの応答特性
○近江陽向¹⁾、近藤早紀¹⁾、棚村壽三¹⁾、光田恵¹⁾、志村欣一²⁾、出原範久²⁾ (¹⁾大同大学、²⁾中部電力(株))
- P6 大気質指標 SOI における嗅覚測定の見直し
○鋤柄高徳¹⁾、樋口能士²⁾ (¹⁾立命館大学大学院、²⁾立命館大学理工学部)
- P7 パラの香りによるヒトの生体反応と個人的因子の関係
○水野久代¹⁾、鈴木太朗²⁾、三浦文緒³⁾、上田明稀香⁴⁾、島田理紗子⁴⁾、小澤理香⁵⁾、山崎英恵⁴⁾⁶⁾、伏木亨⁷⁾、
塩尻かおり³⁾⁶⁾、山崎正幸⁴⁾⁶⁾
(¹⁾京都大学人と社会の未来研究院、²⁾滋賀大学データサイエンス教育研究センター、³⁾龍谷大学農学部植物生命学科、
⁴⁾龍谷大学農学部食品栄養学科、⁵⁾京大大学生態学研究センター、⁶⁾龍谷大学大学院農学研究科、⁷⁾甲子園大学)
- P8 金属錯体の混練による天然ゴム(RSS)の臭気の影響
○阿知良浩人¹⁾、鷲家洋彦²⁾
(¹⁾兵庫県立工業技術センター 技術企画部技術支援室、²⁾兵庫県立工業技術センター 皮革工業技術支援センター)
- P9 乳脂のにおい成分解析～におい識別装置の活用～
○峯松優、亀山透、西村久美子、高橋英吾、林田裕美(三菱ケミカル(株))
- P10 嗅覚受容体の応答抑制香料を用いた消臭効果の検証
○田澤寿明¹⁾、福谷洋介²⁾、江口諒¹⁾ (¹⁾エステー(株)、²⁾東京農工大学大学院)

ポスター発表② 8月31日(水) 11:10~12:40

ポスター会場：X0211~X0215

司会：洞田浩文（大成建設(株)）

- P11 TOER と臭気到達範囲に関する一考察
○樋口能士(立命館大学理工学部)
- P12 類似景観通路におけるにおい目印である“鼻印”に関する一検討
○竹村明久、吉田空(摂南大学)
- P13 計算課題時のヒトから放散される皮膚ガスのおいモニタによるリアルタイム測定
○樋上光雄¹⁾、倉岡宏幸²⁾
(¹⁾産業医科大学 産業保健学部 作業環境計測制御学、²⁾産業医科大学 産業保健学部 安全衛生マネジメント学)
- P14 においの繰り返し曝露が主観評価に与える影響に関する研究
○崔ナレ¹⁾、山中俊夫¹⁾、竹村明久²⁾、小林知広¹⁾、平野雅人³⁾、福本柗一郎¹⁾ (¹⁾大阪大学、²⁾摂南大学、³⁾(株)三菱地所設計)
- P15 洗濯用製品使用時の揮発成分挙動に関する研究
○浦野真弥、太宰久美子、加藤研太((有)環境資源システム総合研究所)
- P16 微生物培養時の臭気に対する真空紫外線の脱臭効果
○内藤敬祐、寺田庄一、鈴木貴之、西尾謙吾(ウシオ電機(株))
- P17 排泄物からのにおい成分の経時変化
○鈴木誉久、白木正孝(新東工業(株))
- P18 羽毛臭気成分の GC/Q-TOF MS による分析
○山下亮¹⁾、渡邊亮¹⁾、幸田知華¹⁾、倉島香織²⁾、坂上和行²⁾ (¹⁾新潟県工業技術総合研究所、²⁾越後ふとん(株))
- P19 包括的二次元ガスクロマトグラフ飛行時間型高分解能質量分析装置を用いた自動車内装材料および自動車室内のにおい分析
○樺島文恵、櫻井昌文(LECO ジャパン(同))
- P20 においの心理的空間に関する研究
○岩井幸一郎¹⁾、榎原清美¹⁾、棚村壽三²⁾、光田恵²⁾ (¹⁾(株)豊田中央研究所、²⁾大同大学)

※ポスター発表

参加者全体に 2 分間のショートプレゼンを行います。プレゼン終了後は、ポスター会場へ移動しディスカッションを行います。オンライン参加の方はディスカッションには参加できませんので予めご了承ください。

【一般口頭発表】 オンライン発表 10:00~10:45

- 4 Evaluation for an analytical performance of the odor sensor that measures samples from bottom
*Kouki FUJIOKA (NARO)
- 5 The effect of repeated daily exposure to an odour on the liking of the odour
*Midori OGAWA and Saho AYABE-KANAMURA
(Faculty of Human Science, University of Tsukuba)
- 6 Influence of emotional state on cognitive performance following odor stimulus presentation
*Kana ENDO¹, Arisa TAKEUCHI¹ and Kaede MORIMOTO²
(¹Hiroshima University, ²Osaka Health Science University)

【一般口頭発表】 学生発表 10:55~11:45

- 7 Research on the acceptability of odors in living environments Report 1 Examination using odorant substances
*Mai KITAGAWA¹, Toshimi TANAMURA² and Megumi MITSUDA²
(¹Daido Graduate School, ²Daido University)
- 8 Impact of aroma on students' subjective evaluation of indoor environment and study performance in a study room
*Shuichiro FUKUMOTO¹, Toshio YAMANAKA¹, Narae CHOI¹, Akihisa TAKEMURA² and Tomohiro KOBAYASHI¹
(¹Osaka University, ²Setsuman University)
- 9 Sensory evaluation, e-nose analysis, and chemical identification of odor compounds from algae (Scenedesmus sp.) for development of odor sensing culture method
*Reon KOYAMA¹, Mikihide DEMURA¹, Ken-Ichi HASHIZUME², Ayumi SEKINE², Katsuhisa SATO³, Tomoko KAMIMURA³, Satoshi SASAGAWA¹, and Daisuke UENO¹
(¹Saga Univeversity, ²Aromabit Inc., ³Nishikawakeisoku Co.,LTD,)
- 10 Sensory evaluation, e-nose analysis, and chemical analysis of storage off-flavor in Satsuma Mandarin
*Satoshi SASAGAWA¹, Nobuhiro KOTOUDA¹, Ken-Ichi HASHIZUME², Ayumi SEKINE², Reon KOYAMA¹ and Daisuke UENO¹
(¹Saga Univeversity, ²Aromabit Inc.,)

【一般口頭発表】 測定分析 9:10~10:10

- 21 Study on the spatial distribution of odor substances due to the difference in the positions of the air supply port and the exhaust port - Examination using Ammonia and D-limonene-
*Saki KONDO, Megumi MITSUDA and Toshimi TANAMURA (Daido University)
- 22 Improvement of the fragrance processing factory environment with a regenerative thermal oxidation type gas treatment system
*Eizo MURAKAMI, Yoshinori MIZUNO and Tomiya KOJIMA (ASAHI KOGYOSHA CO.,LTD)
- 23 Odor profile analysis and the deodorized evaluation of the effect by using GC-Olfactometry-TOFMS
*Fumie KABASHIMA and Masafumi SAKURAI (LECO Japan Corporation)
- 24 Headspace analysis of Yuzu and Yuzus floated in the bath
*Naomi TOMITA, Kumiko SASAKI and Kensuke SAKAMAKI (T.Hasegawa.Co., Ltd)

【一般口頭発表】 評価方法 10:20~11:05

- 25 Effects of different subject attributes on odor evaluation
*Ikuko BAMBA¹, Nanae HORIE² and Megumi MITSUDA³
(¹Tokyo Gakugei University, ²Former Tokyo Gakugei University, ³Daido University)
- 26 A study on the calculation procedures of Odor Indices using the correct answer rate: Introduction of complete correct answers
*Kaoru FUJIOKA¹ and Yasuo YANAGIBASHI²
(¹Fukuoka Women's University, ²Fukuoka University)
- 27 Comparison of sensory evaluation and investigation of odor habituation in the working environment
*Chiharu MATSUMOTO, Hidekazu FUKUDA, Takashi NAMIKAWA, Masako SAKAMOTO, Shogo KAWAI and Shohei ARAKI
(DAIKIN INDUSTRIES,LTD.)

- P1 Chemical identification of storage off-flavor in Satsuma Mandarin
*Satoshi SASAGAWA¹⁾, Nobuhiro KOTOUDA¹⁾, Katsuhisa SATO²⁾, Tomoko KAMIMURA²⁾, Reon KOYAMA¹⁾
and Daisuke UENO¹⁾
(¹⁾Saga University, ²⁾Nishikawakeisoku Co.,LTD.)
- P2 Calculating odor indices using the correct answer rate for completely correct answers
*Momomi KUBOTA¹⁾, Kanade HONDA¹⁾, Kaoru FUJIOKA¹⁾ and Yasuo YANAGIBASHI²⁾
(¹⁾Fukuoka Women's University, ²⁾Fukuoka University)
- P3 Various aromas of "Indian jujube" from Okinawa
*Maika NAGASHIMA¹⁾, Toshio HASEGAWA¹⁾, Eisuke KURAYA²⁾ and Takashi FUJIHARA¹⁾
(¹⁾Graduate School of Science and Engineering, Saitama University,
²⁾National Institute of Technology, Okinawa College)
- P4 Anti-inflammatory ability and functional assessment of plant extracts to atopic dermatitis models
*Ayumi FUJITA¹⁾, Asaka KOMURO²⁾, Hirone TAKEDA¹⁾, Miyako NEDATI³⁾ and Naoko ANDO¹⁾
(¹⁾Department of Applied Chemistry, Graduate School of Science and Engineering, Toyo University, ²⁾Department
of Applied Chemistry, Faculty of Science and Technology, Toyo University,
³⁾Industrial Technology Research Institute)
- P5 Research on measurement of odor in living environment by gas sensor Part1 Response characteristics
of semiconductor gas sensor to odor substances
*Hinata OMI¹⁾, Saki KONDO¹⁾, Toshimi TANAMURA¹⁾, Megumi MITSUDA¹⁾, Kinichi SHIMURA²⁾
and Norihisa IZUHARA²⁾
(¹⁾Daido University, ²⁾Chubu Electric Power Co.,Inc.)
- P6 An attempt on the simplification of olfactory measurement for air quality index SOI
*Takaho SUKIGARA¹⁾ and Takashi HIGUCHI²⁾
(¹⁾Grad school of Ritsumeikan Univ., ²⁾Ritsumeikan Univ.)
- P7 Relationship between Human Biological Responses to Rose Fragrance and Personal Factors
*Hisayo MIZUNO¹⁾, Taro SUZUKI²⁾, Fumio MIURA³⁾, Akika UEDA⁴⁾, Risako SHIMADA⁴⁾, Rika OZAWA⁵⁾,
Hanae YAMAZAKI⁴⁾⁶⁾, Tohru FUSHIKI⁷⁾, Kaori SHIOJIRI³⁾⁶⁾, Masayuki YAMASAKI⁴⁾⁶⁾
(¹⁾Kyoto University Institute for the Future of Human Society,
²⁾Shiga University Center for Data Science Education and Research,
³⁾Department of Plant Life Science, Faculty of Agriculture, Ryukoku University,
⁴⁾Department of Food Sciences and Human Nutrition, Faculty of Agriculture, Ryukoku University,
⁵⁾The Center for Ecological Research, Kyoto University,
⁶⁾Graduate School of Agriculture, Ryukoku University, ⁷⁾Koshien University)
- P8 The influence for odor emitted from natural rubber (RSS) by mixing with metal complexes
*Hiroto ACHIRA¹⁾ and Hirohiko WASHIYA²⁾
(¹⁾Hyogo prefectural Institute of Technology, Technical Support Room,
²⁾Hyogo prefectural Institute of Technology, Support Center for Leather Industry)
- P9 Analysis of Odor Components of Milk Fat -Utilization of Electronic Nose-
*Yuu MINEMATSU, Touru KAMEYAMA, Kumiko NISHIMURA, Eigo TAKAHASHI and Hiromi HAYASHIDA
(Mitsubishi Chemical Corporation)
- P10 Evaluation of the deodorant effect of olfactory receptor inhibitors
*Toshiaki TAZAWA¹⁾, Yosuke FUKUTANI²⁾ and Ryo EGUCHI¹⁾
(¹⁾S.T.CORPORATION, ²⁾Tokyo University of Agriculture and Technology)

- P11 A case study on the relationship between total odor emission rate and odor affecting range
*Takashi HIGUCHI
(Ritsumeikan Univ.)
- P12 Pilot study on "odor landmark" in similar landscape corridor
*Akihisa TAKEMURA and Sora YOSHIDA
(Setsunan University)
- P13 Real-time measurement of skin gases using odor-measuring monitors during mental arithmetic task
*Mitsuo HINOUE¹⁾ and Hiroyuki KURAOKA²⁾
(¹⁾Department of Environmental Management, School of Health Sciences, University of Occupational and Environmental Health, Japan,
(²⁾Department of Occupational Safety and Health Management, School of Health Sciences, University of Occupational and Environmental Health, Japan)
- P14 Influence of Repeated Exposures to Odor on the subjective evaluation
*Narae CHOI¹⁾, Toshio YAMANAKA¹⁾, Akihisa TAKEMURA²⁾, Tomohiro KOBAYASHI¹⁾, Masato HIRANO³⁾ and Shuichiro FUKUMOTO¹⁾
(¹⁾Osaka University, ²⁾Setsunan University, ³⁾Mitsubishi Jisho Design)
- P15 Research on Behavior of Volatile Organic Compounds Using Laundry Products
*Shinya URANO, Kumiko DAZAI and Kenta KATO
(Institute of Environment and Resource Systems)
- P16 Deodorizing effect of vacuum ultraviolet rays on odor during microbial culture
*Keisuke NAITO, Shoichi TERADA, Takayuki SUZUKI and Kengo NISHIO
(USHIO INC.)
- P17 Changes in odor components from feces over time
*Yoshihisa SUZUKI and Masataka SHIRAKI
(SINTOKOGIO, LTD.)
- P18 Analysis of down and feather odor components by GC/Q-TOF MS
*Ryo YAMASHITA¹⁾, Ryo WATANABE¹⁾, Chika KODA¹⁾, Kaoru KURASHIMA²⁾ and Kazuyuki SAKAUE²⁾
(¹⁾Industrial Research Institute of Niigata Prefecture, ²⁾Echigo Futon Co.,Ltd)
- P19 Detailed analysis of car interior materials and the air of the vehicle interior by using Comprehensive Two-Dimensional Gas Chromatography coupled with TOFMS
*Fumie KABASHIMA and Masafumi SAKURAI
(LECO Japan Corporation)
- P20 Study on psychological space for odors
*Koichiro IWAI¹⁾, Kiyomi SAKAKIBARA¹⁾, Toshimi TANAMURA²⁾ and Megumi MITSUDA²⁾
(¹⁾Toyota Central R&D Labs., Inc., ²⁾Daido University)